

令和8年度「健やかな体」育成プログラム

学校番号：37005

学校名：札幌市立発寒中学校

令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 結果

分析

体力・運動能力
＜男子＞

○札幌市に平均とほぼ同程度もしくは上回った種目
握力、長座体前屈、20mシャトルラン、50m走、立ち幅跳び

○札幌市に平均とほぼ同程度であるが、やや下回った種目もしくは下回っている種目
上体起こし、反復横跳び、ハンドボール投げ

・走る種目に関しては札幌市の水準を超えている。主体的に体育の授業に取り組み、自己の目標に向かって努力している態度があると考ええる。

体力・運動能力
＜女子＞

○札幌市に平均とほぼ同程度もしくは上回った種目
握力、長座体前屈、20mシャトルラン、立ち幅跳び、ハンドボール投げ

○札幌市に平均とほぼ同程度であるが、やや下回った種目もしくは下回っている種目
上体起こし、反復横跳び、握力

・4種目で札幌市の水準を超えている。運動が好きと回答した生徒が4割と低いことから、体育の授業を通して、積極的に運動し楽しむ態度を養うことが必要である。

運動・スポーツへの意識、
運動習慣

・「運動やスポーツをすることが好き」と回答する子どもの割合
男子：71.2%、女子：40.3%

・中学校を卒業した後も自主的に運動する時間をとりたいと思う生徒
男子：74.1%、女子43.5%

・男子は運動が好きと回答した生徒が7割いることから、主体的に運動に取り組むことができている。女子は・運動が好きと答えた生徒が4割と低いため、まずは運動に親しむ態度を養うことが必要である。

三つの取組

① 体育・保健体育等の授業の充実

② 授業以外で子どもの運動機会を創出する取組

③ 子どもが自ら健康の保持増進を図る取組

具体的な取組

○ICTを活用した学習活動の充実
→器械運動、陸上競技等で撮影し、自分自身を客観的に評価し課題を発見する

○「分かる」授業の展開
→課題を明確にし、生徒一人一人が主体的に授業に取り組む。

○運動機会の充実を図る環境整備の推進

○体育委員主催のスポーツイベントを休み時間に体育館で実施

○各教科等の内容を関連づけた健康教育の推進

○家庭・地域と連携し健康教育について充実を図る

家庭・地域との連携・協働

○生徒のアンケートや保護者のアンケートの活用
○学校評価委員会・学校関係者評価等の活用
○全国体力・運動能力、運動習慣等調査を活用

